

近畿エコロサービス株式会社

2017 年度 環境活動レポート

(対象期間:2017年6月～2018年5月)

作成日 : 2018/12/8

更新日 :

近畿エコロサービス株式会社

環境方針

<基本理念>

当社は、一般廃棄物及び産業廃棄物を取り扱う業務に従事するに当たり、今後深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇といった重要課題に対し、積極的に問題提起し、当社の出来る事項について全社一丸となって、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ②受託産業廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
 - ③水資源の節水
 - ④事務用品のグリーン購入
 - ⑤コピー用紙の削減
 - ⑥顧客と廃棄物削減、リサイクル量の目標を共有

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規則や当社が約束したことを順守します。

制定日： 2011/12/1

改定日：

代表取締役社長

福田 卓司

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

近畿エコロサービス株式会社
代表取締役社長 福田 卓司

(2) 所在地

本社 大阪府東大阪市楠根1丁目8番12号
リサイクルセンター 大阪府枚方市春日野2丁目5番1号
奈良営業所 奈良県橿原市山之坊町621番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 東大阪 現場部門 長井 修 TEL:06-6745-3448
担当者 リサイクルセンター 福田 卓司 TEL:072-845-4751
奈良営業所 事務部門 宮野 金光 TEL:0744-21-5026

(4) 事業内容

大阪市一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理:破砕)、金属くず商、古紙再生事業

(5) 事業の規模

法人設立 平成10年8月
資本金 1,000万円
売上高 19,987万円

	本社	リサイクルセンター	奈良営業所	合計
従業員	5名	6名	4名	15名
延べ床面積	330㎡	990㎡	66㎡	1386㎡

受託した廃棄物の収集運搬量(2016年度)

一般廃棄物収集運搬量	912.6 t		
産業廃棄物収集運搬量	1564.8 t	中間処理量	1564.8 t

車両台数

車種	台数	重機・機器	台数	備考
4tパッカー車	3	バックホウ	2	
2tパッカー	1	リフト	1	
4tダンプ	4			
2tトラック	3			
軽自動車	1			
乗用車	6			
合計	18 台		3台	

主要設備

名称	台数	備考
破砕機	1	5t未満/日

積み替え保管施設

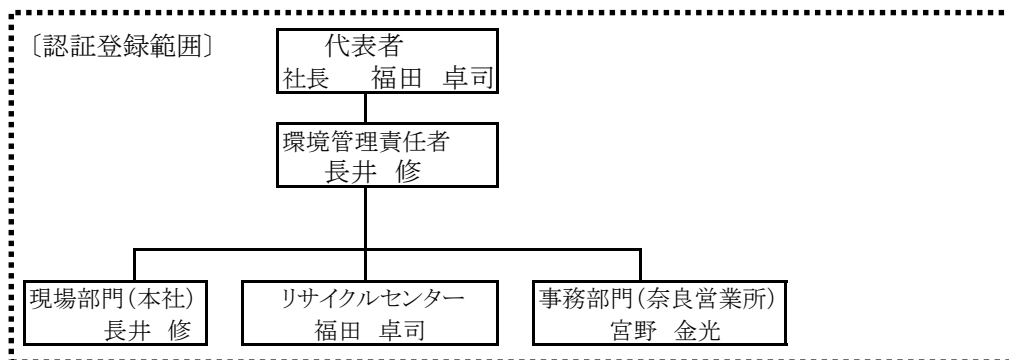
名称	面積	保管量	保管品目	備考
本社	20㎡	32.40㎡	金属くず、廃プラ、ガラスくず	

(6) 事業年度 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 近畿エコロサービス株式会社
事業所: 本社、リサイクルセンター、奈良営業所
活動: 一般・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業(中間処理)

【環境管理実施体制図】



□許可・登録の内容

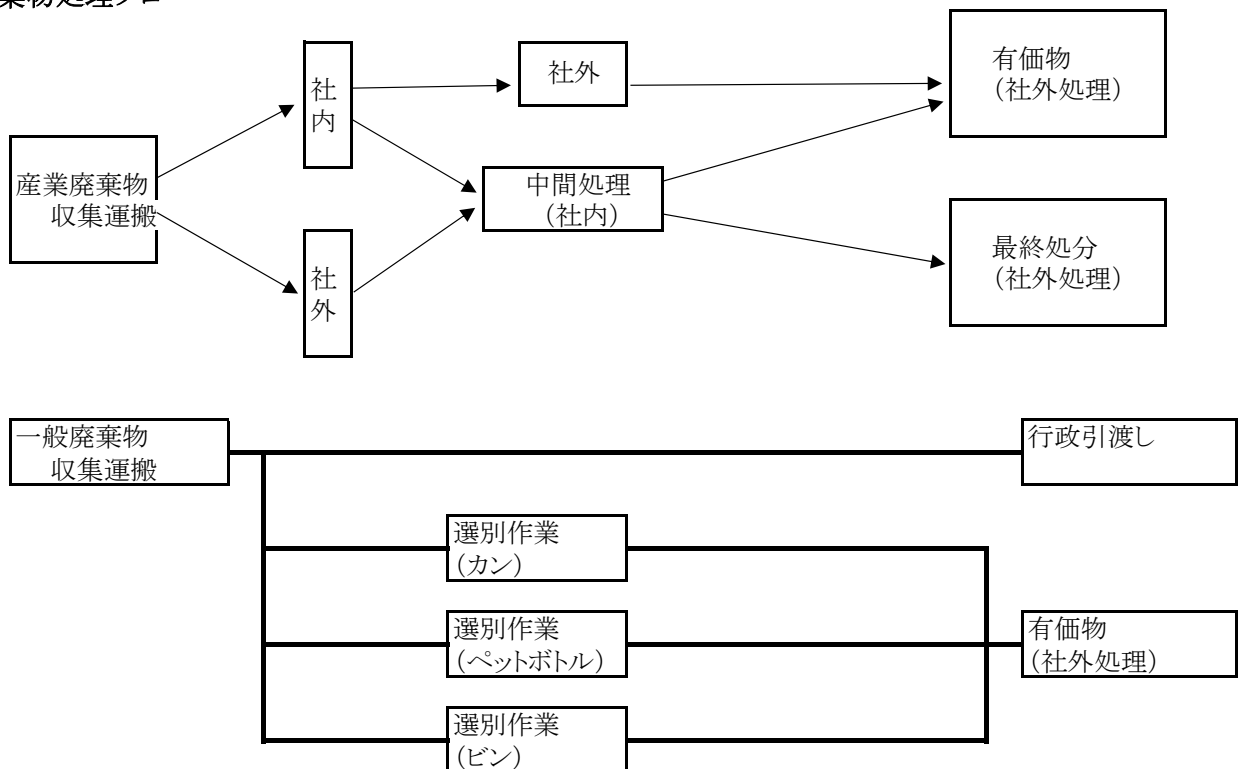
種類	発行者	許可番号	許可の年月日 許可の有効年月日	産業廃棄物の種類																		
				廃 プラ	紙 くず	木 くず	織 維 くず	ゴ ム くず	金 属 くず	ガ ラ ス くず	が れ き 類	動 植 物 残 渣	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	鉍 さい	燃 え 殻				
一般廃棄物収集 運搬業	大阪市	第030-121号	平成30年4月1日 平成32年3月31日	—																		
産業廃棄物収 集運搬業	大阪府	第02700056287号	平成29年4月16日 平成34年4月15日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	東大阪市	第6810056287号	平成29年4月24日 平成34年4月11日	○	●	●	●	●	○	○	●											
	兵庫県	第02803056287号	平成29年11月27日 平成34年11月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	京都府	第02600056287号	平成29年12月8日 平成34年11月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	奈良県	第02900056287号	平成29年10月10日 平成34年10月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	和歌山県	第3000056287号	平成29年9月13日 平成34年9月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
	滋賀県	第02501056287号	平成30年2月14日 平成35年2月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
	三重県	第02400056287号	平成30年8月20日 平成35年7月7日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	岡山県	第03300056287号	平成28年12月22日 平成33年12月21日	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
	徳島県	第3600056287号	平成29年1月16日 平成34年1月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
香川県	第03709056287号	平成29年2月3日 平成34年2月2日	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
産業廃棄物 処分業	枚方市	第12020056287号	平成30年12月3日 平成35年10月6日	●	●	●	●	●	●	●	●											

※東大阪市の○は、積替・保管

□処理料金

処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、本社(電話:06-6745-3448)までお問い合わせ下さい。

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年(基準年)	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	247,403	159,374	149,646	156,709	145,703
総排水量	m ³	591	307	336	380	416

□環境目標及びその実績

項目	年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年		達成状況	2018年
		(基準年度)	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年度	9,969	7,090 72%	6,519 65%	6,888 69%	9,571 96%	6,165 62%	○	9,471 95%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年度比	237,434	152,284 65%	143,127 60%	149,821 63%	227,937 96%	139,538 59%	○	225,562 95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	247,403	159,374 65%	149,646 60%	156,709 63%	237,508 96%	145,703 59%	○	235,033 95%
自社一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	600	24 4%	90 15%	90 15%				
受託産業廃棄物のリサイクル率向上	% 基準年度比	40	53 133%	73 182%	72 180%	42 104%	60 150%	○	42 105%
受託一般廃棄物のリサイクル促進	t 基準年度比	293	380 128%	425 145%	367 125%	305 104%	330 113%	○	308 105%
水道水の削減	m ³ 基準年度比	591	307 52%	336 57%	380 64%	567 96%	416 70%	○	561 95%
事務用紙の削減	kg 基準年度比	4.4	3.5 80%	3.3 75%	2.8 64%				
グリーン購入	割合 基準年度比	64%	66% 103%	64% 100%	65% 101%	67% 104%	70% 117%	○	67% 105%
取引先への環境配慮	件	12	13 110%	16 133%	17 142%	16 130%	20 154%	○	16 130%
会社周辺清掃		会社周辺の毎月1回の清掃							

※電力のCo2係数:0.355

※①電力、自動車燃料、水道水の削減については、リサイクルセンター開設(8ヶ月/12ヶ月)により、2013年実績に対し基準値を1.5倍上昇させた。

※②受託一般廃棄物のリサイクル促進については、2013年を基準値とした。

※2014年度には新たに受託産業廃棄物のリサイクル率向上を目標設定した。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	○	ON,OFFの意識が高まり、無駄な電力使用を抑えられている。
・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	○	
・不要照明の消灯	◎	
・未使用OA機器の電源OFF	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・効率的なルート収集	◎	事前予定を立て効率の良い回収が行われている。
・急加速・急停車の防止	○	
・アイドリングストップ	○	
受託産業廃棄物のリサイクル促進		
・分別の細分化	○	リサイクル率は向上しているものの、一方でプラスチック等のリサイクル業者が減少し、新たな業者開拓が必要。
・リサイクル業者の開拓	○	
・排出事業者への分別依頼	○	
受託一般廃棄物のリサイクル促進		
・分別収集によりリサイクルの促進	○	顧客との分別意識の共有が増えている。
節水		
・節水、止水の徹底	△	目標はクリアしているものの、前年より増えている。
グリーン購入		
・グリーン購入対象品目調査	○	エコ商品も増加しているので、今後も継続する。
取引先への環境配慮		
・顧客とリサイクル目標の共有	○	リサイクル意識の共有が増えてきている。
	○	
社会貢献		
・清掃	○	月1回の清掃活動。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)の適正処理
自動車Nox・PM法	排気ガス規制
大阪府条例(流入車規制)	排気ガス適合車両
自動車リサイクル法	業務用自動車、トラックの適正処理
家電リサイクル法	TV、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、クーラーの適正処理
改正リサイクル法	パソコンの適正処理
オフロード法	バックホウ、リフトの適正な検査
浄化槽法	浄化槽の定期検査、点検、清掃
消防法	消防設備の点検、表示、防火水槽の設置

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

一般廃棄物 - 顧客との分別意識の共有が進み、リサイクルが順調に進んでいる。

産業廃棄物 - リサイクル率は順調に進んでいるものの、廃プラスチック、OA機器のリサイクルが困難な状況になっているので、工場での商品の細分化を進める。同時に再生業者を開拓。

使用燃料 - 可能な限り事前予定を立て無駄のない運行が行われている。

節水 - 前年度を意識し、更なる止水、節水の徹底。

基準年度から比較すると順調に推移している。自社だけでは対応に困難な事案もあるが、業者との提携により事態を解決していく

□環境活動の紹介



会社周辺の清掃



エコドライブの実践



大阪市一般廃棄物適正処理協会を通じてのエコキャップ運動